

# 放課後子ども教室だよ



## ほばらっ子クラブ・新柱沢さくらクラブ訪問

子ども教室充実のために



伊達市では3つの放課後子ども教室があり、どの教室も地域の実情やニーズに応じ、特色ある活動が行われています。今回訪問した「ほばらっ子クラブ」は、特別支援学校、特別支援学級の児童が交流できる教室です。また「新柱沢さくらクラブ」は、放課後児童クラブの役割を兼ねた教室です。

### ほばらっ子クラブ

伊達市 (11月27日)

ほばらっ子クラブは、保原中央交流館の和室を利用して毎週金曜日に実施しています。特別支援学校、特別支援学級の児童が交流することができる、県北域内では他に例がない教室です。そのため口コミ等で少しずつ広まり、地域の児童だけでなく他の市町村からも参加があります。

教室を訪れた児童は、自由に思い思いの活動をします。スタッフが活動内容を決めるのではなく、本人の自主性に委ねられます。広い和室を利用しているため、走り回りながら遊ぶこともできます。ボールを蹴ることも、バットを使って転がしたボールを打つこともできます。音楽を聴きながらごろごろ寝転がったり、ダンスしたりすることもできます。その一つ一つの活動に対し、スタッフの方が優しくサポートしているのがとても印象的でした。



### 新柱沢さくらクラブ

伊達市 (11月27日)

新柱沢さくらクラブは、小学校に隣接する柱沢小旧校長住宅を利用して、毎週月曜日から土曜日まで実施しています。また夏休みなど長期の休業日にも対応しており、放課後児童クラブとしての役割も兼ねています。登録を希望する児童は多数いますが、施設の広さの都合により対象とする児童を3年生までとし、30名に限定して活動を行っています。

子どもたちは教室に来るとすぐに宿題を始めました。学習していて分からないことに対しては、スタッフの方が児童一人一人に丁寧に対応し、考え方のヒントを与えたり、教科書を用いて自力解決が図れるよう援助したりと、適切な学習支援を行っていました。宿題が終わった順に帰りの支度を済ませ、絵本を読んだり、お絵かきをしたり、友だちと仲良くカードゲームをしたりして遊んでいました。中には、押し入れを秘密基地にして楽しんでいる男の子達もいました。

